



コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和5年11月発行
編集:天草中央総合病院広報委員会

リーダーが行うべき言葉の伝え方

院長 芳賀 克夫

寒さが身にしみる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。以前、本稿でリーダーシップ論について述べましたが、今回はリーダーに必要なコミュニケーション能力についてお話ししましょう。

リーダーの仕事は、チームの能力を最大限引き上げることです。スポーツで言えば、監督になります。部下に対しては、いつも笑顔で接しましょう。決して感情的になってはいけません。どうやって笑顔を作るか分からないときは、自分が好きな先生やタレントを思い浮かべると自然に笑顔がでるようになります。

自分と部下の間に意見の相違がみられるときは、まず自分の意見の根拠となるデータを示すべきです。しっかりとした根拠を示せば、部下は納得し、自分の意見を聞き入れてくれるでしょう。また、リーダーは、あいまいな表現は避け、自らの意見を明確に伝える必要があります。野球で、あるバッターがインコースを打てないときは、「お前はインコースを引っ張ってばかりで、ダメだ」と言ってもなかなか選手は聞き入れてくれません。「いつも若い選手を引っ張ってくれてありがとう。君の成績を分析したら、アウトコースの球は3割1分とよく打っているが、インコースは2割2分とあまり打てていなかった。今後はこのことを意識して、インコースの球はなるべくファウルにして逃げておき、アウトコースの球が来るのを待って打った方がいいよ。」と伝えれば、選手は納得してくれるでしょう。以前、南海やヤクルトで日本一となった野村監督がデータ野球だと言われましたが、具体的なデータを示して、選手に伝える方が選手は納得してくれるものです。

以上まとめますと、リーダーは笑顔を絶やさない。リーダーは根拠となるデータを部下に示し、明確に自らの意思を伝える。この二つを心がけていけば、チームはうまく回っていくでしょう。



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
〒863-0033 熊本県天草市東町101番地
TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105
ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

＜新任医師のご紹介＞

産婦人科 平尾 佳奈



2023年10月から当院産婦人科に赴任しました、平尾佳奈と申します。初期研修医の頃に1カ月間、当院の産婦人科で研修し、様々な経験をしました。その後、熊本大学産婦人科に入局をし、今回は産婦人科医の一人として天草に赴任することになりました。天草地域の医療に貢献できるよう、一産婦人科医として日々診療にあたって参りますので、何卒よろしくお願い致します。

第6回緊急輸血シミュレーション訓練を実施しました

産婦人科 川中 みなみ

産科危機的出血は、妊産婦300人に約1人の頻度で発生するとされ、医療の進歩により減少しているものの、依然として妊産婦死亡の第1位となっています。一般手術などの出血と比較し急速に全身状態の悪化を招きやすく、発症初期の対応が重要とされています。特に、常位胎盤早期剥離(児の娩出より先に胎盤がはがれた状態)などの基礎疾患をもつ産科出血では、中等量の出血でも容易に母体の生命に関わる状態となり得ます。

当院では大量出血の症例に備え、2018年度より緊急輸血シミュレーション訓練を行っています。今回は、常位胎盤早期剥離で出血対応が必要な妊婦さんを想定し、緊急搬入から手術までの対応についてシミュレーション訓練を行いました。実際に訓練を行うと、伝達の難しさや認識を強化すべきところなどがみられ、訓練後に行った反省会では多職種から多くの意見が挙がりました。私たち産婦人科医師としても、症例に応じて全体の動きを変えていく必要があることを改めて認識し、他スタッフとの正確な連携が大切であることを実感しました。

想定するような大量出血の症例は発生しないことが一番ですが、出産という大きな事象においてどの妊婦さんに起きうる状況です。そのため、初期の対応を予測し訓練しておくことで、この天草という地で一人でも多くの方の生命をつなぐことを目指し、日々診療に取り組んで参ります。



【部署紹介No.7】

《 3階病棟 外科・歯科口腔外科・整形外科と地域包括病床のご案内 》

3階病棟看護師長 川本ますみ

3階病棟は外科・歯科口腔外科・整形外科50床と地域包括病床10床の混合病棟です。

外科の主な疾患は乳癌、消化器系・胆・肝・膵系疾患等です。癌の治療は医師・薬剤師・外来がん認定看護師がチームとなって入院前から対応しています。加えて、栄養士やリハビリ・緩和ケアチーム・連携室看護師やソーシャルワーカー・訪問看護師も一緒に患者様の個々の状況に応じて対応しています。また、退院後も患者様への支援が途中で切れないように心がけて、看護サマリーを外来へ渡し、申し送りをしています。

また、当病棟には、当院の強みの一つである歯科・口腔外科の患者さんが入院されます。**癌の患者様のみならず、私たちにとって口腔内の環境は良好に保つことが身体の状態をよりよく保つ頃につながる重要な診療科です。**主な疾患は出血リスクの高い抜歯や口腔内の炎症・顎の骨折、口腔内腫瘍等の入院治療をしています。

さらに、整形外科においては、手術件数が2020年より増加しており、大腿骨骨折、変形性膝関節症、変形性股関節症、半月板損傷、胸腰椎圧迫骨折等、骨折の手術から慢性期のリハビリまでの患者様の援助や看護を実施しています。天草島内で手術・リハビリ・在宅へと完結できるようになり、地域貢献になっていると考えます。

地域包括病床は病気治療後に在宅復帰できる患者様が主な対象で、最長60日の入院が可能です。様々な疾患の患者様が入院されており、在宅復帰に向けて他職種チームで援助しています。

患者様の高齢化が進み、認知症の患者様も多く、対応が難しいことが増えていますが、看護師は認知症研修に参加して知識の更新をして看護を実施してまいります。また、患者様の早期退院を目指し、他職種と協力しながら今後も援助してまいります。



熊本大学病院緩和ケアセンター 第10回県民公開講座が開催されました

10月22日(日)天草市民センターで第10回県民公開講座～天草の皆さんに知ってもらいたい
もっと身近に緩和ケア～が開催されました。

講演は、『がんの痛みに対する治療』:熊野御堂 慧先生(当院・内科医長)、『病気を抱えても
あなたらしく過ごすために』:松本 衣里先生(松本内科・眼科 副院長/当院・緩和ケア科)、『治
療を支える社会制度』:山口 美貴さん(当院・地域医療連携室)、『緩和ケアと栄養』:脇山 由佳
利さん(天草地域医療センター・栄養課)、『「今、ここで生きる」を支えたい！ 緩くつながる地域
ネットワークの立役者たち』:塚元 麻理子さん(訪問看護ステーションこころ)、『医療者とともに考
える「生き甲斐」の処方箋』:吉武 淳先生(熊本大学病院 緩和ケアセンター長)という内容でした。

各講演後には質疑応答があり、講師の先生より認知症のがん患者様への意思決定支援や意思
確認の対応方法などについてのアドバイスもありました。

当日は約200名の皆様に来ていただきました。がん相談支援センターの紹介のパネル展もあり、
又がんに関する様々な配布資料もたくさん準備してありました。天草地域での緩和ケアも含めた
がんに関する様々な情報を提供できた機会になったと思います。



熊野御堂慧先生(当院・腫瘍内科)



松本衣里先生(松本内科・眼科
副院長/当院・緩和ケア科)



山口美貴さん
(当院・地域医療連携室)



脇山由佳利さん
(天草地域医療センター・栄養課)



塚元麻理子さん
(訪問看護ステーションこころ)



吉武淳先生(熊本大学病院
緩和ケアセンター長)



看護補助者(「助手さん」)を求めています！

医療現場では、「看護補助者」と一緒に勤務することが普通になってきています。そのことで、看護師が患者さんのベッドサイドにいく時間が増え、看護の専門的力を発揮できることにつながります。これから益々、医療の高度化によって、「看護補助者」と力を合わせていく必要が高まります。しかし、看護補助者の数は減少していて、その確保が深刻化しています。

そこで、「看護補助者」のお仕事を紹介いたします。看護補助者の業務は大きく二つあり、「周辺業務」と言われる、患者さんに直接接しない業務であり、室内の環境整備やベッドメイキングの他、病棟内において、看護用品及び消耗品の整理整頓、看護職員が行う書類・伝票の整理及び作成の代行、診療録の準備等の業務を行うこととすることと、「直接ケア」といわれる患者に直接接して、「看護師長及び看護職員の指導の下に、原則として療養生活上の世話(食事、清潔、排泄、入浴、移動等)をすることです。尚、経験や資格は問いません。一緒に看護チームの一員として働きませんか？！



厚生労働省のjob tag で「看護助手」として紹介されています。そこには、仕事の内容や年収・平均年齢などのデータが掲載されています。

看護助手 - 職業詳細 | job tag(職業情報提供サイト(日本版O-NET)) (mhlw.go.jp)

<https://shigoto.mhlw.go.jp/User/Occupation/Detail/246>

その他、天草の産科医療を支える助産師や、医師の診察の側でパソコン業務をする医師事務補助などを募集しています。

天草中央総合病院

がん相談支援センター



ひとりで悩まずご相談ください

がん専門相談員として研修を受けた看護師、医療ソーシャルワーカー(MSW)などが、信頼できる情報に基づいて、がんの治療や療養生活についての質問や相談をお受けします。相談は無料です。

治療の副作用や今後の療養生活が不安

医師からの説明が難しくよくわからない

何を聞けばいいかわからない



緩和ケアについて知りたい

家族としてどのように本人を支えればよい

仕事は続けられるか治療費はどのくらい

受付：1階 Bブロック奥 地域医療連携室内

時間：8:30～17:00(土日祝を除く)

電話番号：0969-22-0011(代表)がん相談支援センター

熊本県理学療法士協会より表彰されました

天草中央総合病院附属介護老人保健施設
理学療法士 山畑 公弘

私が老健に入職し、はや16年が立ちました。これまでに通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、入所リハビリテーションと老健で経験できるリハビリのすべてを経験しました。また、いつの間にか天草ブロックの理学療法士協会の活動に誘われ、執行部員となり、あれよあれよと2年間ブロック長になりました。理学療法士協会の活動を簡単に紹介しますと、今年の3月時点で熊本県下に会員が3000名以上在籍しており、毎年増続けております。

また県下10ブロックに分かれており、天草ブロック独自に理学療法士向けの研修会、公益活動としての市民向けセミナーの開催、天草市から依頼を受けて地域ケア会議への理学療法士の派遣などを主な活動として行っています。コロナ禍であっても理学療法士協会の活動は続いており、熊本県下でも特に活動が活発なブロックとして知られています。

初めての学会発表は全老健の名古屋で、認知症のリハビリに関する調査を行いました。その後、施設長の学会発表を進める音頭もあり、これまで6回の発表の経験に恵まれました。同じJCHOグループであれば初めてお会いした方であっても妙に親近感が湧いてきたり、類似の内容の発表者と意気投合することもありました。また、ポスター発表では読むスライドの順番を間違えた苦い経験もありました。勿論、発表後の反省会と称したお食事会も学会の醍醐味の1つでした。今回、りんどう賞の受賞の理由は上記の理学療法士協会の活動と学会発表の2点を評価していただいたことによります。

今夏、子供たちは目をギラギラさせて暑い中でも昆虫を捕まえました。同じ目線で私も虫取り網を振っているのですが、大人が先にバテてしまいます。子育ては親育てとも言うとおり、仕事も子供が背中を見ていると思って取り組みたいと思います。まだまだ理学療法士人生は長いのでギラギラまではいきませんが、また新たなチャレンジができればと思っています。



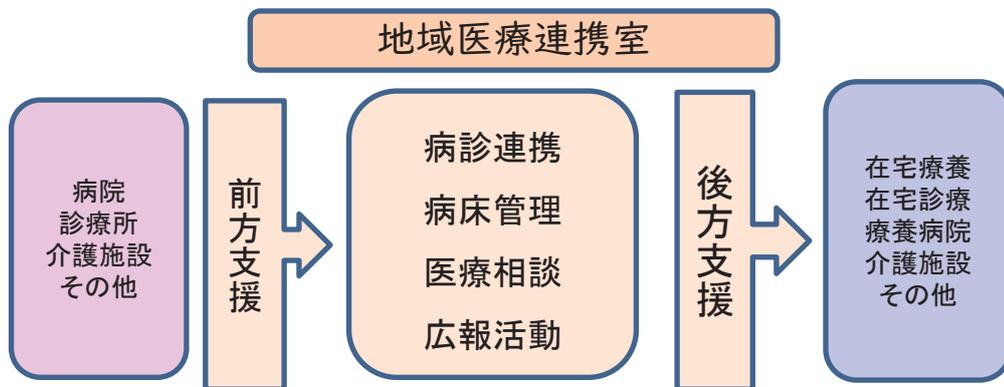
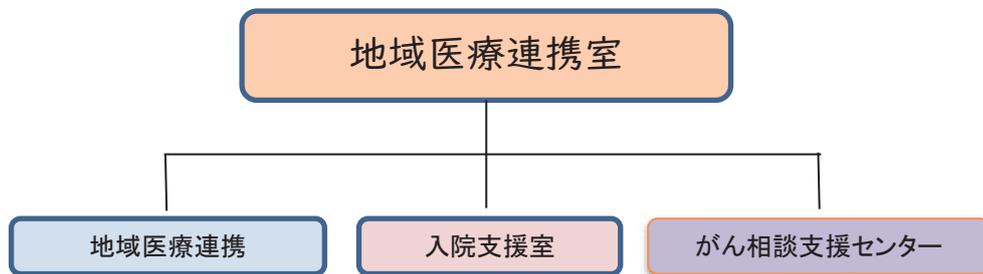


地域医療連携室

リニューアル 致しました



2023年10月より、従来の地域医療連携室部門に「入院支援室」「がん相談支援センター」を新たに設置しました。「入院支援室」は、患者さま・ご家族が入院前から療養生活のイメージ化を図ることで、安全に・安心して医療に参画していただけるよう支援を行います。「がん相談支援センター」では、がんに関するご相談の他、がんに関する様々な支援・連携を行います。これまで以上に地域医療機関や保健福祉関連担当者と連携し、外来受診時から入院および退院後までを見据えて、地域の中で安心して在宅療養を送っていただけるよう支援を行います。



【スタッフ紹介】

地域医療連携室室長 木山貴彦 医師
 地域連携室看護師長 須崎了子
 地域連携室副師長 長川千恵美
 退院調整看護師 1名
 入院支援室看護師 2名
 医療社会事業専門員 2名
 事務職員 1名



相談受付時間：月曜日～金曜日（8:30～17:00）
 相談受付方法：直接来室、電話相談可能
 電話番号：0969-22-0011（代表）
 FAX番号：0969-24-1808（連携室直通）



【新人職員の紹介】

4階病棟 看護師 釜崎 真生

4月より4階病棟に看護師として配属になりました。釜崎真生です。念願の看護師となれ、4階病棟で働けていることをうれしく思います。あっという間に過ぎる毎日で、ついていくのに必死ですが、充実した日々を過ごしています。病棟ではプリセプターの方を始め、先輩方に教えていただきながら看護技術、業務等1つずつ確実に習得できるように積極的に取り組むことを心がけています。少しでも早く自立し病棟や患者様に貢献できるよう、今は毎日地道に学習と実践を重ねながら頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



4階病棟 看護師 平田 萌々花

4月から4階病棟に配属になりました、平田萌々花です。私は、患者さんやそのご家族に信頼される看護師になれるように、先輩方からのアドバイスやご指導を真摯に受け止め、日々努力していきます。また、患者さんが安心して治療を受けられるように、患者さんやご家族の声に耳を傾け、一人一人に寄り添った看護を提供できるように頑張ります。不慣れな点もたくさんありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



4階病棟 看護師 阪井 綾音

今年度より4階病棟に配属になりました、阪井綾音です。日々先輩方の丁寧なご指導の元業務に取り組み、少しずつできることが増え、達成感ややりがいを感じることができています。分からないことも多くありますが、相談や確認を行いながら安全に看護を実践できるように励んでいきます。看護師として、より成長できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



4階病棟 看護師 石田 健

本年度より勤務させていただいています、石田健です。忙しいですが、日々たくさんの経験を積ませていただいています。分からないことは上司に聞いたり、調べたりしていき、今後も成長していきたいと思えます。また、地元天草で地域に寄り添った看護を提供できるように精一杯頑張りたいと思えます、よろしくお願いいたします。



3階病棟 看護師 亀口 真琴

看護師として働かせていただき、患者様に安心して看護を提供できるように日々、専門知識や技術の習得に励んでいます。覚えることもたくさんあり、ご指導やアドバイスを頂きながら看護させていただいていますが、患者様からありがとうの言葉や、出来ることが増えたときのうれしさなどから、やりがいを感じています。日々、研鑽し、早く仕事に慣れ看護チームの一員として役割・責任を果たせれるようになりたいです。また、何事にも積極的に行動し、理想の看護師になれるように努力したいです。



経理課 渡辺 一世

今年度から入職しました。経理課の渡辺一世です。出身は宮崎県で、高校までは宮崎県、大学生で4年間福岡に住んでいました。大学では法学を学んでいました。現在は宅建士の資格を取るため勉強しています。趣味はダンスで、ブレイクダンスをしています。本渡運動公園で時々練習しています。大会などにも出ているので応援していただけると嬉しいです。天草には初めて訪れたので観光名所やおいしいものなどいろいろ教えてください。患者様により良い医療を提供していけるように頑張ります。

